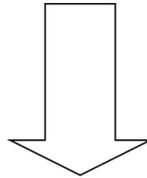


令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	国立大学法人における先端研究の推進		担当部局	研究振興局	作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大学研究基盤整備課 黒沼 一郎		
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画 (令和3年3月26日閣議決定)			
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化		主要経費	科学技術振興費			
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-24-2.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	世界の学術研究を先導することを目的とした先端的な学術研究の大型プロジェクトを戦略的に推進し、もって我が国の学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	学術研究の大型プロジェクトは、科学技術・学術の進展により装置等の高度化・大型化が進んでいることなどから、国際共同プロジェクトとして推進される傾向が強まっている。このようなプロジェクトの推進に当たっては、国際約束に基づき、装置の建設分担や運営経費の分担等について、適切に日本の責務を果たすことが重要である。また、我が国の学術研究の発展に資するため、多様な学術研究を推進するための基盤を支えることについても、国が一定の役割を果たすことが求められている。これらのプロジェクトについて、審議会における評価に基づき、進捗に合わせた最適な予算配分を行うなど、国が一定の関与を持って安定的・継続的に推進する必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	国立大学法人及び大学共同利用機関法人が実施する研究拠点プロジェクトのうち、世界の学術研究を先導することを目的として実施する先端的な学術研究の大型プロジェクトや、国内外の研究機関に対して研究活動の共通基盤を提供する取組について、各プロジェクトの進捗を踏まえ、国が一定の関与をもって安定的・継続的に推進するために必要な経費を補助する。						
事業概要URL							
実施方法	補助						
補助率等	国立大学法人及び大学共同利用機関法人が実施する研究プロジェクトのうち、世界の学術研究を先導することを目的とした先端的な学術研究の大型プロジェクトについて、研究成果の目標設定や研究期間の設定など、同プロジェクトの進捗状況を踏まえ、これらのプロジェクトの実施に必要な経費のうち国が一定の関与を持って安定的・継続的に推進するために必要な部分の経費を補助する。						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	10,170	10,170	10,170.3	10,459.4	-
			1,882	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	1,882	-	55.4	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 1,882	-	▲ 55.4	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	10,170	12,052	10,114.9	10,514.8	-
執行額(G)	10,170	12,052	10,114.9				
執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	84%	119%	99%				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費			重要政策推進枠 1,777百万円		
	(目)	国立大学法人先端研究推進費補助金	10,459.4				
		その他		-			
	計(A)	10,459.4	-				

活動内容① (アクティビティ)		国立大学法人及び大学共同利用機関法人が実施する研究プロジェクトのうち、世界の学術研究を先導することを目的とした先端的な学術研究の大型プロジェクト等について、同プロジェクトの進捗状況を踏まえ、これらを安定的・継続的に推進するために国による一定の関与が必要なプロジェクト・内容を特定し、必要な経費を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		先端的な学術研究の大型プロジェクト等について、安定的かつ継続的に推進する。	本事業により推進する大型プロジェクト数	活動実績	プロジェクト数	5	5	3	-	-	
				当初見込み	プロジェクト数	4	5	3	3	-	
↓											
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		効果発現の初期段階として、大型プロジェクトに参画している共同利用・共同研究者数に大型プロジェクトの推進が成果として現れるため、国内外の優れた研究者を結集し国際的な研究拠点を形成するとともに、研究活動の共通基盤を提供することを短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		国内外の優れた研究者を結集し国際的な研究拠点を形成するとともに、研究活動の共通基盤を提供する。	大型プロジェクトに参画している共同利用・共同研究者数	成果実績	人	3,271	9,149	9,227	-		
				目標値	人	3,000	9,000	9,000	-		
				達成度	%	109	101.7	102.5	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓											
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		国内外の優れた研究者を結集し国際的な研究拠点を形成するとともに、研究活動の共通基盤を提供することで、我が国の学術研究の発展に資する画期的な成果の創出につながる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		我が国の学術研究の発展に資する画期的な成果の創出		成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「宇宙と生命の起源を探究する大型ミリ波サブミリ波望遠鏡アルマ2計画」では世界最高レベルの高解像度の電波望遠鏡により、これまでの記録を1億光年遡る135億光年かなたの最遠方銀河の候補を発見し、宇宙初期の銀河の形成過程の理解を深めることに貢献するなどの成果を上げた。また、「KEKスーパーBファクトリー計画」では電子・陽電子衝突型加速器の運転を行い、衝突性能の世界記録を更新し、これまで集めた実験データの解析を進め、暗黒物質探索などの学術論文を発表するなどの効果を上げた。「大強度陽子ビームで究める宇宙と物質の起源と進化」では世界で初めて金属磁性体が使われた加速空洞がRCSとMRIに本格的に導入され、この結果、3GeV RCSの小型化と、高次高調波導入によるビーム強度増強が可能となった。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		独創的・先端的な研究の推進により生まれた最先端の成果については定量的に示すことが困難である。また、当事業では各年度により性質、期間の異なるプロジェクトを対象とするため定量的なアウトカムではなく定性的なアウトカムを設定し総合的に判断していくこととしている。									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等		名称									
		URL									
		該当箇所									

文 部 科 学 省
10,114.9百万円

国立大学法人及び大学共同利用機関法人が実施する世界の
学術研究を先導することを目的として実施する先端的な学術研究
の大型プロジェクトのうち、大規模な国際共同プロジェクトとして進
められるものについて、戦略的・計画的に推進するために必要な
経費を支援。



[補助金等交付]

A. 大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構
8,703.1百万円

B. 大学共同利用機関法人
自然科学研究機構
1,411.8百万円

世界の学術研究を先導することを目的とした先端的な学術研究
の大型プロジェクトを推進。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業推進費	加速器運転に係る光熱水費、保守等の運用経費、実験に必要な消耗品費等	8,703.1	事業推進費	望遠鏡観測に係る光熱水費、保守等の運用経費、共同利用・共同研究にかかる旅費等	1,348.6
			人件費	事業担当職員への給与等	63.2
計		8,703.1	計		1,411.8

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	4050005005267	スーパーKEKBによる実験研究 大強度陽子加速器による実験研究	8,703.1	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	5012405001823	大型電波望遠鏡「アルマ」による国際共同利用研究の推進	1,411.8	補助金等交付	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	